

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	つむぎ子ども教室（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 2日		～ 2024年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	(回答者数)	16
○従業員評価実施期間	2024年 12月 2日		～ 2024年 12月 20日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○子どもの発達支援 ・障がいの種別に関わらず、どの子にも応じた発達支援ができるよう、障がいと発達のみちすじを理解した上で支援計画を作成し療育指導を行っていること。	○子どもの様子に応じた環境設定（場所や人数対応なども含む） ○どの子にも笑顔での向かい合い、やりとりを楽しみながら、心地よい環境づくり ○面白い、楽しい、満足な遊びの提供 ○自己肯定感が持てる活動内容	○職員のスキルアップ研修 ○日々の療育の振り返り ○個別のケース会やカンファレンスへの参加等
2	○保護者支援 ・保護者の困りごとに寄り添い、安心できる場所であるように心がけている。発達相談にもできるだけ応じていること。必要に応じて、関係機関との連携を図っていくこと。	○保護者学習会を定期的に行い、困りごとに寄り添ったテーマ設定の学習会や保護者交流などを行った。 ○個人面談や必要に応じて発達相談などを行った。 ○必要に応じて、関係機関へ繋げられるよう相談に応じた。	○引き続き、保護者の困りごとや思いなどを拾い上げられる場面を設定していく。 ○保護者と一緒に子育てを楽しめる場所になるよう工夫していく。（イベントや交流会等）
3	○保育園と連携した支援 ・法人内の保育園に通園している子が多く在籍しているため、保育園生活の様子がわかり情報共有できる。また放デイもある事からつながりのある支援が実現しやすい。	○保育園での集団活動では取り組めなかったことが、少人数で個別に取り組むことができ、「できた」に繋がり自信が持てた。 ○保育園での行事にも一緒に参加することもあり、困りごとに気付くことができ解決に向けて取り組みやすい。 ○学齢に向けての不安ごとにも対応できた。	○法人内で作業療法士を雇用していることもあるので、専門職と連携し日々の活動に生かしていきたい。 ○児童発達から学齢期への移行について、情報提供していきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○児童発達支援と放デイの情報共有 ・同じ法人内の事業でありながら、活動の時間帯が違うこともあり、会議や研修などの情報共有が取りにくく、伝わっていないことがある。	・イベントや研修など一緒に行うことがある。その準備としての会議の日程調整がなかなか難しく、また会議内容が共有できていないことがある。	会議の持ち方、情報共有の仕方など、仕組みを変えながら解決に向けて取り組んでいく。
2	○防災や安全対策について ・書類作成はできていて定期的に避難訓練もしているが、なかなか保護者に周知できていない。そして、もっと頻度を上げ実際の災害を想定した訓練を行うべき。	・具体的な場面を想定しながらの訓練や、避難時の物品その管理など不十分な点が多いと感じている。	・定期的な避難訓練と物品の見直しなど、さらに計画して取り組んでいく。
3	○職員間の情報共有 ・面談後報告やケース会後の情報共有など、不十分に感じている。	・日々の業務に追われ、まとまった時間が取りにくいことや、児発管の業務が多い事なども原因と思われる。	・時間や業務内容の振り分けなど、効率よく仕事ができるよう工夫していく。子どもや家庭の様子が共有できることは、発達支援の質の向上に繋がってくると考えられる。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見をふまえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている。	15	0	0	1		国の定める活動スペースの確保はできておりますが、事業所のスペースを有効活用できるよう、前向きに検討していきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか。	13	1	0	2		国が定める配置基準を満たしており、専門性を高めるための法人内、事業所内研修も行っております。
	③	活動場所は、本人に分かりやすい環境になっているか。また障がいの特性に応じ、設備等はバリアフリー化や情報伝達などの配慮が適切になされているか。	14	1	0	1		
	④	生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもの活動に合わせた空間になっているか。	12	3	0	1	活動内容は聞いたり振り返りで連絡をいただくのでとても良く分かるが空間に関してはなかなか活動時に見ることができないので分かりません。話を聞く感じでは「はい」と書いても大丈夫そうですが…。	ご希望される保護者の方には、活動の様子を見学いただいております。
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか。	15	1	0	0		今年度より、個別支援計画に本人またはご家族の意向を載せさせていただいております。何かありましたら、アセスメントの際にご意見いただけますと幸いです。
	⑥	児童発達支援計画（個別支援計画）には、「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す項目が、具体的な支援内容で設定されているか。	15	0	0	1		
	⑦	児童発達支援計画（個別支援計画）に沿った支援が行われているか。	15	1	0	0		支援プログラムはその日のリーダーが個別支援計画に沿った内容になるよう毎日立案し実施しております。
	⑧	活動プログラムが、固定化されず工夫されているか。	15	1	0	0		
	⑨	運営規定、利用者負担などについて、丁寧な説明がなされたか。	16	0	0	0		
	⑩	児童発達支援計画（個別支援計画）のねらいや支援内容など、丁寧な説明がなされたか。	16	0	0	0		
	⑪	保護者に対して、学習会や発達相談など、家族支援を行っていたか。	15	1	0	0		毎月保護者学習会を開催しています。

保護者への説明など	⑫	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか。	14	1	0	0	「日頃」からはこちらの状況を伝える機会がないかな…毎日先生と会えるわけではないので。	保育園在園の保護者様とはなかなかお会いできない方も多く、保育園とは情報共有しておりますが、課題に感じています。
	⑬	定期的に、保護者に対して面談や育児に関する助言等の支援が行われているか。	15	1	0	0		
	⑭	親子イベントや保護者学習会など、保護者同士が交流できる場を設定し、支援しているか。	16	0	0	0	もっともっとたくさんの保護者の方に参加いただけると嬉しいです。とても素敵なイベントを知ってほしいです！！	ありがとうございます。楽しみに参加して頂ける皆様を思い浮かべながら、引き続き企画・実施していきたいと思えます。
	⑮	保護者からの申し入れや要望、相談などの申し入れについて、対応の体制が整備されているか。また、相談や申し入れの際に迅速かつ適切に対応されているか。	15	0	0	1		
	⑯	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか。	16	0	0	0		
	⑰	定期的に会報やホームページなどで、活動の予定や行事予定、連絡事項や自己評価などを発信しているか。	16	0	0	0		
	⑱	個人情報の取り扱いに十分注意しているか。	15	1	0	0	別の子の活動記録が入っていることがありました。	大変申し訳ありません。今後このようなことがない様、確認を徹底し改善に務めてまいります。
非常時の対応	⑲	緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、訓練等を行っているか。	12	0	0	4		契約時にはマニュアルの説明や防災訓練なども行っておりますが、保護者様への周知が徹底しておらず、大変失礼いたしました。今後は周知方法の工夫等も検討していきたいと思えます。
	⑳	非常災害の発生に備えているか。	10	1	0	5		
満足度	㉑	子どもは通所を楽しみにしているか。	15	0	0	1		
	㉒	事業所の支援に満足しているか	16	0	0	0		

《自由記載》

毎回工夫をこらした活動や運動を行っていただき、本人の様子や成長を細かく教えていただけるのがとてもありがたいです。最初の頃は緊張していたようですが、最近は楽しんで参加できているのを感じています。

いつもありがとうございます。今後ともよろしく申し上げます。

つむぎ子ども教室で活動させていただくようになり約9ヶ月ですが、とても成長を実感しております。ニガテがとても多かった当初から考えても、出来ることややれることが・・慣れるまでの早さがとても早くなったと感じました。家でも出来ること、出来るようになったことを楽しそうに見せてくれており、お教室が楽しい空感なのは子供の様子を見ていても伝わってきます。これからも、ゆっくりとでも出来ることが増えていくことを楽しみにしております。今度とも、よろしくお願ひ申し上げます。

子どもの成長に合わせた取り組みを考えて下さり、実践して下さるのでありがたいです。振り返りシートで日頃の様子を詳しく知ることができるので、安心して預けることができます。

毎回とても楽しく通わせていただいております。本人も先生方が大好きで一緒に活動することが楽しいようです。ハサミ、ボール、ダンス・・・少しずつできることのステップが上がリ、本人もそれがうれしいようです。毎日、毎日、少しずつ、一つずつ、先生方が教えてくださるおかげです。先生方、お友達、1人1人との関係も築いていることがわかります。うれしいです。いつも向き合っていて関わっていただいていること、感謝しています。ありがとうございます！！私自身は勉強会で、子どものいない場で客観的に考え直す場、学びの場をいただけて、心をおちつかせ、余裕を少しもてるようになりました。ありがとうございます。

いつもありがとうございます。STの方が辞められてしまったので、新しい方が入って指導して下さる機会があると嬉しいです。

療育振り返りシートに、楽しくできたことや、できなかったこと、苦手なことを書いて下さるので、家で遊ぶときの参考になります。

いつも大変お世話になっております。前の様に向えてゆっくりお話を先生方から、うかがう事が少なくなりましたが療育振り返りシートのコメントをたのしみに、拝見しています。

《保護者の皆様へ》

○この児童発達支援評価票は、児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者の方に、年に1回、事業所の評価をしていただくものです。評価の結果を分析・改善していくことで、さらにより良い事業所をめざしていきたいと思っております。お忙しいと存じますが、ご理解とご協力をお願い致します。

○ご記入方法は、「はい」「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」のいずれかに○をご記入して頂くとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

なお、この評価票の結果は後日集計し、お知らせいたします。同時に、後日情報公開としてHPに掲載いたします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日		
つむぎ子ども教室		2025年3月28日		
	チェック項目	はい		工夫している点・課題や改善点
		いいえ		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	2	どうしても集団にいられない時にクールダウンできる場所があるのは良い。日によっては、もう少しスペースがほしいと思うが、建物の構造上難しい。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	療育の前後でビュラックスをこまめに使い掃除している。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1	個別の部屋として利用する時は、用具を外へ出さなくてはいけない手間がある。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	2	あまりアンケート結果が反映されていない部分もあり課題点です。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	個別面談の後、個別支援計画にある内容については周知しているが、徹底されていないこともある
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	

関係機関や保護者との連携	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	個室を使って1対1で個別課題に取り組む日がある。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	1	できていない日もあり、反省点です。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	できていない日もある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	日々の記録はできるだけ徹底しているが、日によって検証はできていないことがある。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	定期的に参加している。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	定期的に参加している。
	26	併利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	同法人の保育所とは日々情報共有している。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	近隣の小学校とは、情報共有できることは多い。他計画相談と連携しながら行っていることもある。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	2	必要な際には連携が取れる仕組みにはしている。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	0	法人内の保育園とは行う事ができている。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	日々の振り返りシートで保護者に伝えている。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	配慮されているがさらに配慮すべき点がないか検討する必要がある。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	0	法人として、子ども食堂を開催。また自立支援協議会に参画し、福祉フェスタなどに参加。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	報告書作成、月1回の全体会議で共有を行っている。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	月の全体会議の時や、年1回の外部講師との研修、他にも区で開催する研修などにも参加。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	1	現在身体拘束を行っている子はいない。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	つむぎ子ども教室Ⅱ（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 2日		～ 2024年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2024年 12月 2日		～ 2024年 12月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○子どもの発達支援 ・障がいの種別に関わらず、どの子にも応じた発達支援ができるよう、障がいと発達のみちすじを理解した上で支援計画を作成し療育指導を行っていること。	○子どもの様子に応じた環境設定（場所や人数対応も含む） ○どの子にも笑顔で向かい合い、やりとりを楽しみながら、心地よい環境づくり ○面白い、楽しい、満足のいく遊びの提供 ○自己肯定感を持てる活動内容	○職員のスキルアップ研修 ○日々の療育の振り返り ○個別のケース会やカンファレンスへの参加等
2	○保護者支援 ・保護者の困りごとに寄り添い、安心できる場所であるよう心掛けて。発達相談にもできるだけ応じていること。必要に応じて、関係機関との連携を図っていくこと。	○保護者学習会を定期的に行い、困りごとに寄り添ったテーマ設定の学習会や保護者交流などを行った。 ○個人面談や必要に応じての発達相談なども行った。 ○必要に応じて、関係機関へ繋がるよう相談に応じた。	○引き続き、保護者の困りごとや思いなどを聴ける場面を設定していく。 ○保護者と一緒に子育てを楽しめるよう場所になるよう工夫していく。（イベントや交流会）
3	○保育園と連携した支援 ・法人内の保育園に在籍している子が多く通園していることにより、保育園生活がわかり情報共有できた。（同建物内のため） ・また放デイへの移行がやすく、そのままつながった支援が実現できている。	○保育園の集団活動では取り組みなかったことが、少人数で個別に取り組むことができ「できた」に繋がり、自信が持てた。 ○保育園行事へも一緒に参加することもあり、困りごとに気づきやすく解決に向けた対応がしやすい。 ○学齢期に向けての不安ごとにも対応できた。	○法人内に在籍している作業療法士と、今後は連携していくことで専門的評価も支援に取り入れていきたい。 ○児童発達から学齢期への移行について、引き続き情報提供していきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○防災や安全対策について ・書類作成や研修、定期的な避難訓練等は実施できているものの、保護者への周知や報告が不十分。また、もっと実際の災害を想定した訓練を行うべきかと思う。	○具体的な場面を想定しながらの訓練や、避難時の物品、その管理など不十分な点が多いと感じている。	○定期的な避難訓練と物品の見直し、地域連携や研修など計画的に取り組んでいく。
2	○職員間の情報共有 ・面談後の報告やケース会などの報告は常に行っているが、会議や研修等で不十分になることがある。	○日々の業務も含め、職員同士のまとまった時間確保が難しい。（個々にはシフト調整などで時間は取れているが）また、児発管・管理者の業務が多いことも考えられる。	○業務分担や時間の使い方など、効率よく仕事ができるよう工夫していく。子どもや家庭の情報共有は、直接の支援に関わる事なので工夫して取り組む。
3	○児童発達支援への通所が減っている ・次年度、児発から放デイへ移行する子が多く、新規で児童発達に入る子が少ない。	○保育園を卒園する子が多いが、反面障がい児の入園が少なく、新規の利用がほとんどない。外部からの問い合わせもほとんどなくなっている。	○地域など、外部機関への働きかけ（パンフレットなど配布）をもっと積極的にしていくなど、対策を考えていく。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている。	9	0	0	0		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか。	9	0	0	0		
	③	活動場所は、本人に分かりやすい環境になっているか。また障がいの特性に応じ、設備等はバリアフリー化や情報伝達などの配慮が適切になされているか。	8	1	0	0		
	④	生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもの活動に合わせた空間になっているか。	9	0	0	0		
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか。	9	0	0	0		
	⑥	児童発達支援計画（個別支援計画）には、「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す項目が、具体的な支援内容で設定されているか。	9	0	0	0	具体的に書かれていてとても分かりやすいです。	
	⑦	児童発達支援計画（個別支援計画）に沿った支援が行われているか。	9	0	0	0		
	⑧	活動プログラムが、固定化されず工夫されているか。	9	0	0	0	記録にも残してくれるのでとても参考になります。	
保護者 への 説明 など	⑨	運営規定、利用者負担などについて、丁寧な説明がなされたか。	9	0	0	0		
	⑩	児童発達支援計画（個別支援計画）のねらいや支援内容など、丁寧な説明がなされたか。	9	0	0	0	とても分かりやすく説明してくれています。	
	⑪	保護者に対して、学習会や発達相談など、家族支援を行っていたか。	8	1	0	0		
	⑫	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか。	9	0	0	0	毎日紙面で教えてくださり、会った時なども様子を伝えてくださいます。	
	⑬	定期的に、保護者に対して面談や育児に関する助言等の支援が行われているか。	8	1	0	0	保育園とも一緒にやったださるので日々の様子がよく分かります。	
	⑭	親子イベントや保護者学習会など、保護者同士が交流できる場を設定し、支援しているか。	9	0	0	0	定期的開催されている印象を受けます。	

	⑮	保護者からの申し入れや要望、相談などの申し入れについて、対応の体制が整備されているか。また、相談や申し入れの際に迅速かつ適切に対応されているか。	9	0	0	0	直接先生に会えなくてもメールやノートで相談できます。
	⑯	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか。	9	0	0	0	
	⑰	定期的に会報やホームページなどで、活動の予定や行事予定、連絡事項や自己評価などを発信しているか。	9	0	0	0	
	⑱	個人情報の取り扱いに十分注意しているか。	9	0	0	0	
非常時の対応	⑲	緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、訓練等を行っているか。	7	0	0	2	
	⑳	非常災害の発生に備えているか。	7	1	0	1	
満足度	㉑	子どもは通所を楽しみにしているか。	9	0	0	0	とっても楽しみにしています。
	㉒	事業所の支援に満足しているか	9	0	0	0	不満は全くありません。大変満足しています。

《自由記載》

年に一度でも、もしくは個別支援計画の説明時等で動画で通所時の様子を見ながら話ができる機会があるとありがたいです。（想定は自身の子供のみなので他のお子さんと一緒にグループワークだと難しいとは思いますが、、、（個人情報等の関係で））

娘が朝起きて、つむぎ教室へ通うことを楽しみにしていることが保護者としてとても嬉しく感じています。娘にとって、安心でき、穏やかな時間が過ごせる居場所が増え、先生はじめ多くのお友達との交流が長く続くことを願います。

最初だけではなく、今も通所を大変楽しみにしています。短期間で成長や変化も大きく感じており、大変感謝しています。

通所も3年目になり、子供のことをよく理解してくれているという安心感で、子供が不安定になってしまうような時期も不安なく預けられています。活動内容もいつも色々なことをやってくださり、家ではなかなか出来ないことばかりなのでとても満足しています。違う学年の子とも一緒に活動しているようで、子供には良い刺激になっていると思います。一番は保育園と連携してくださっているのが、とてもありがたいです。保育園の活動にも先生方が参加してくださるので安心してます。

《保護者の皆様へ》

- この児童発達支援評価票は、児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者の方に、年に1回、事業所の評価をしていただくものです。
- ご記入方法は、「はい」「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」のいずれかに○をご記入して頂くとともに、「ご意見」についてもなお、この評価票の結果は後日集計し、お知らせいたします。同時に、後日情報公開としてHPに掲載いたします。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日		
つむぎ子ども教室Ⅱ（児童発達支援）		2025年3月28日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	1	職員全体で周知・確認ができるよう業務改善に努めてまいります。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	職員全体で周知・確認ができるよう業務改善に努めてまいります。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	0	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	新人研修が手厚い。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	1	ケース会議を行い、情報共有と支援の検討を徹底し個別支援計画を作成していきます。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	
	16 児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドライン」の「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	日により職員間のフィードバックの時間が取れない場合があるので、別日に時間を設けるなど、共有できるようにしていきます。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	

関係機関や保護者との連携	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	2	必要な際には連携が取れる仕組みになっています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	1	法人内の保育園とは行うことができています。
保護者への説明等	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	0	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業運営を図っているか。	3	1	職員は近隣小学校で行われる催しや地区のお祭りに参加をしています。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	

非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0	